

南房総・館山地域キャッシュレス動向調査 (速報値)

目次

頁

1. 調査実施概要	19
① 実施概要	19
② 回収サンプルの内訳	19
2. 調査結果	20
① 日常生活におけるキャッシュレス決済の利用状況	20
② キャッシュレス決済の利用場面	21
③ 利用ができず困ったことの有無	22
④ キャッシュレス決済の優先度	23
⑤ 導入してほしい場面	24
⑥ 公共交通機関利用において、料金支払いが面倒と感ずることや不安	25

令和6年1月

南房総・館山地域公共交通活性化協議会

1. 調査実施概要

① 実施概要

本地域における地域公共交通のキャッシュレス化・利便性向上を図ることを目的とし、キャッシュレスの利用状況等の動向を把握するため、アンケート調査を実施した。

■概要

対象者	・15歳以上～90歳未満の南房総市民1,000人(無作為抽出) ・15歳以上～90歳未満の館山市民1,000人(無作為抽出) ※その他、市HP等によるWeb回答ページの発信
主な調査項目	・属性(居住地、性別、年齢、職業) ・日常生活におけるキャッシュレス決済の利用状況 ・キャッシュレス決済の利用場面 ・利用ができず困ったことの有無 ・キャッシュレス決済の優先度 ・導入してほしい場面 ・公共交通機関利用において、料金支払いが面倒と感ずることや不安
調査方法	・郵送による配布・回収 ※WEB回答も可
調査期間	令和5年12月1日(金)～12月18日(月) ※12月25日(月)までに返送されたものを集計対象とした

② 回収サンプルの内訳

本調査で回収したサンプルの属性について、内訳を以下に示す。

■属性

		属性	実数	割合	属性	実数	割合
居住地		南房総市	523	40.9(%)	館山市	741	58.0(%)
		無回答	14	1.1(%)			
性別		男性	582	45.5(%)	女性	665	52.0(%)
		答えたくない	10	0.8(%)	無回答	21	1.6(%)
年齢		15～19歳	36	2.8(%)	20～29歳	71	5.6(%)
		30～39歳	114	8.9(%)	40～49歳	169	13.2(%)
		50～59歳	200	15.6(%)	60～64歳	125	9.8(%)
		65～69歳	134	10.5(%)	70～74歳	159	12.4(%)
		75～79歳	153	12.0(%)	80歳以上	109	8.5(%)
		無回答	8	0.6(%)			
職業		会社員・公務員	398	31.1(%)	自営業	136	10.6(%)
		学生	38	3.0(%)	専業主婦(夫)	104	8.1(%)
		パート・アルバイト	104	13.9(%)	無職(年金生活含む)	378	29.6(%)
		その他	28	2.2(%)	無回答	18	1.4(%)

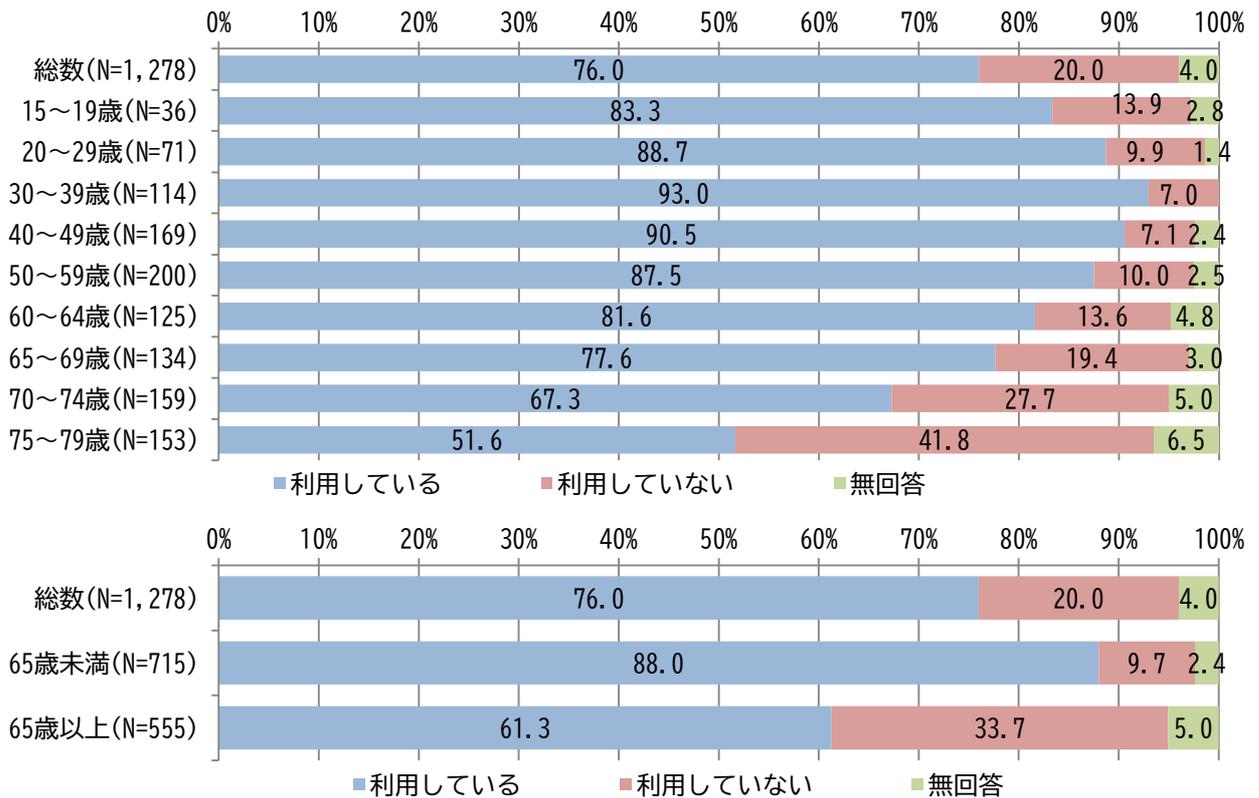
2. 調査結果

① 日常生活におけるキャッシュレス決済の利用状況

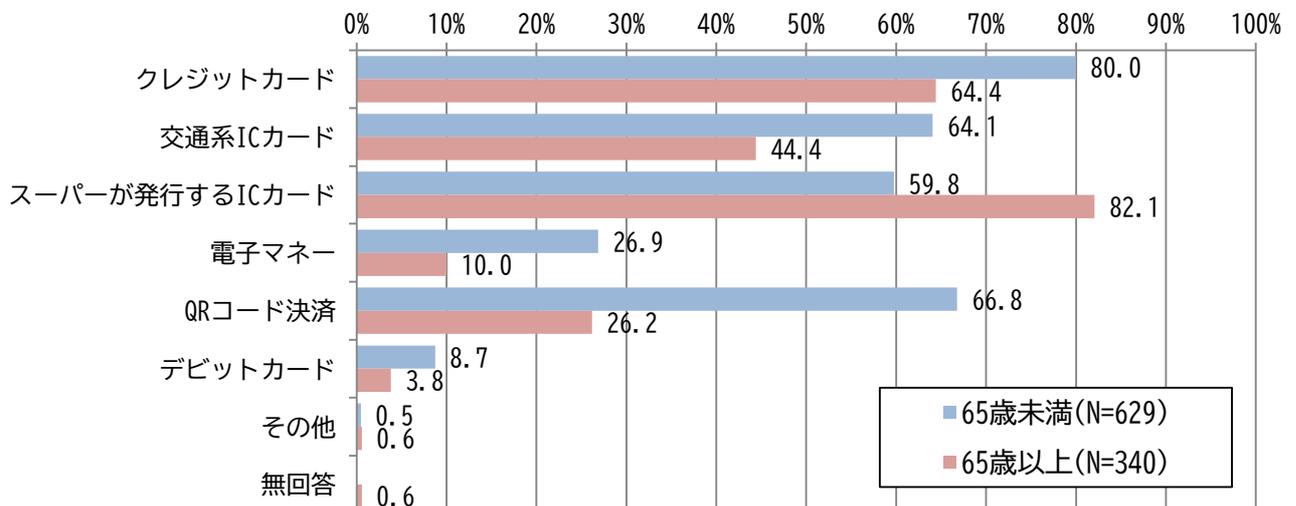
キャッシュレス決済の利用状況について、「30～39歳」で最も利用が多い世代となっており、高齢になるにつれ利用は少なくなる傾向にあるが、「65歳以上」でも61.3%と半数以上の利用がみられる。

利用する種類について、65歳未満では「クレジットカード」、65歳以上では「スーパーが発行するICカード」が最も多く利用されており、「交通系ICカード」の利用も高い数値を示している。

■ 利用有無



■ 利用するキャッシュレス決済の種類



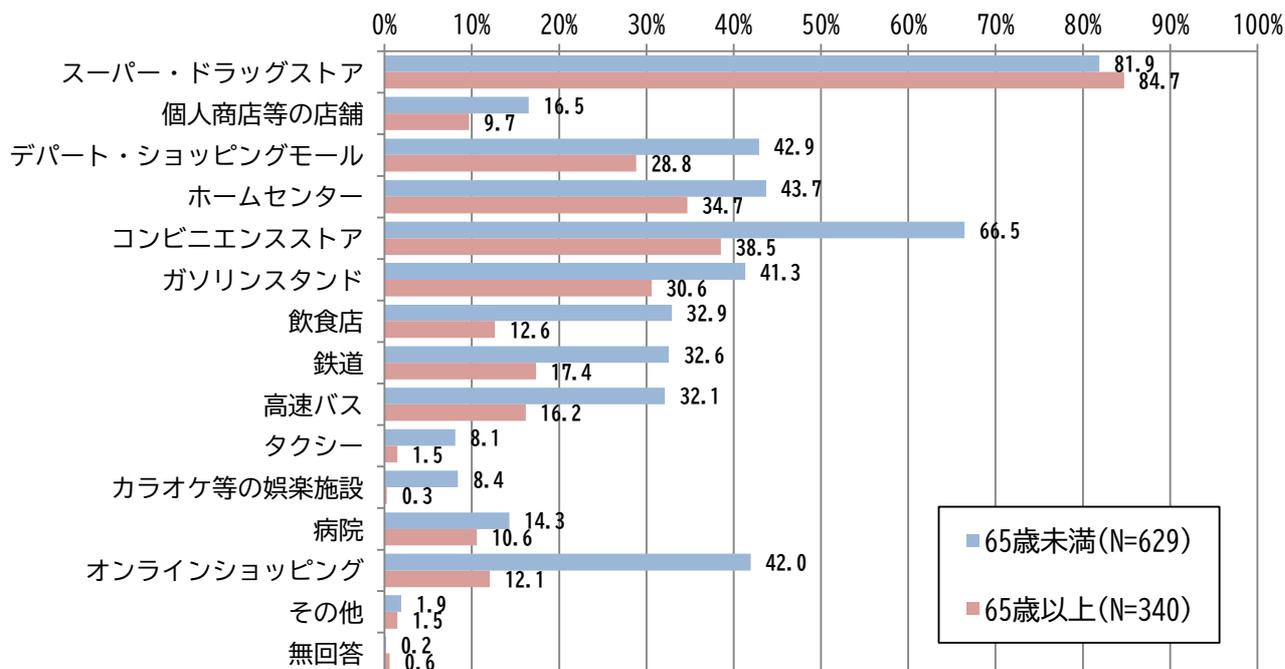
② キャッシュレス決済の利用場面

利用場面としては、「スーパー・ドラッグストア」が最も多く、次いで「コンビニエンスストア」、「ホームセンター」となっている。

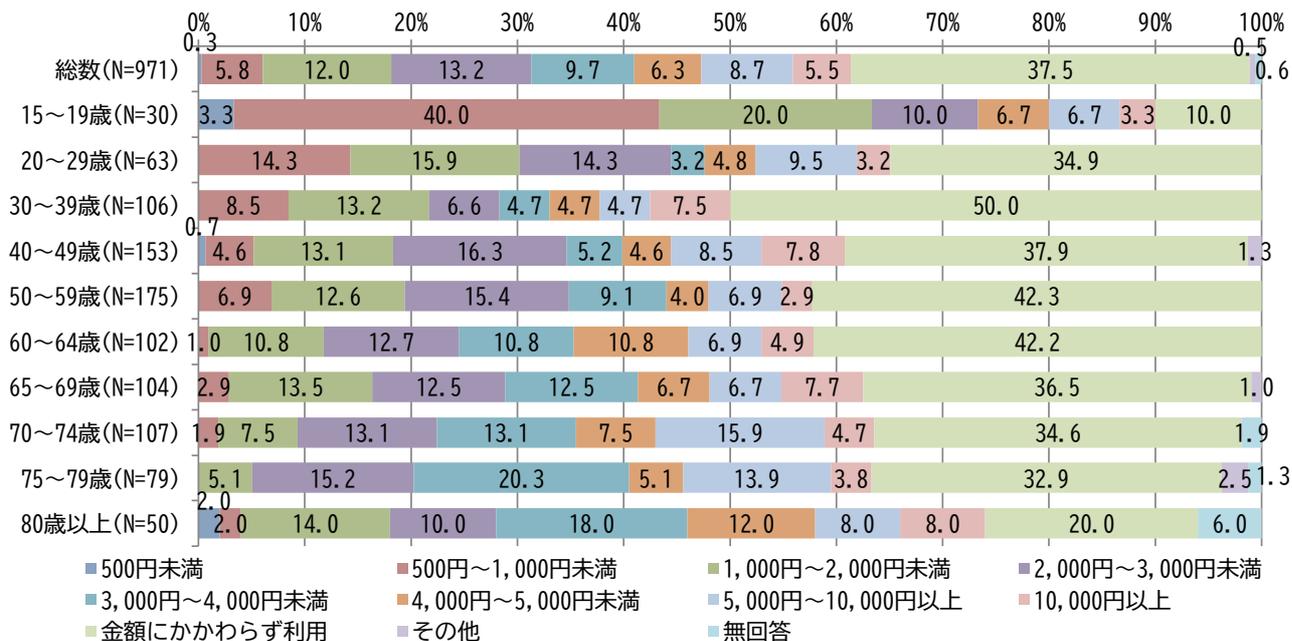
「鉄道」、「高速バス」の公共交通機関については、65歳未満で約3割、65歳以上で約2割の利用があり、65歳未満においては「タクシー」利用時の利用も一定数みられる。

平均利用金額では、「金額にかかわらず利用」が最も多い。

■ 利用場面



■ 平均利用金額

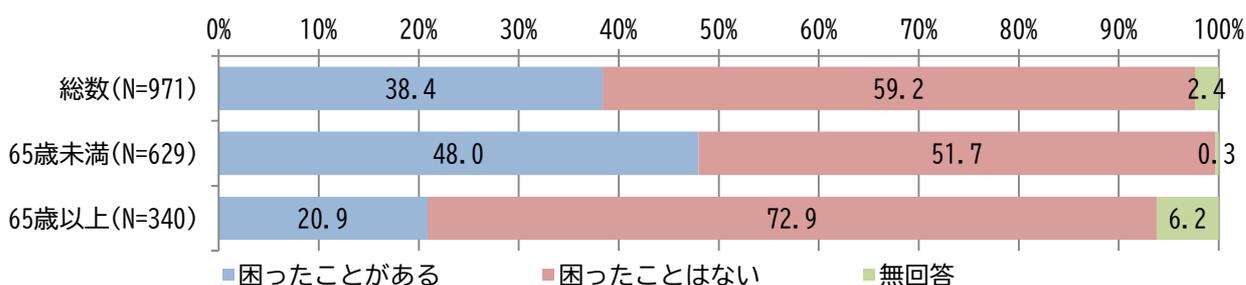
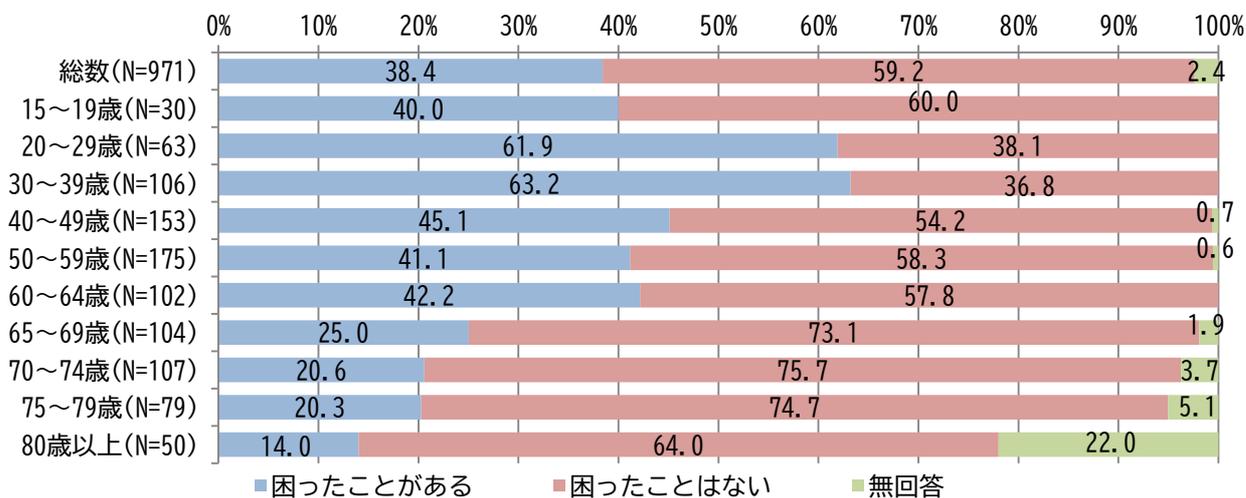


③ 利用ができず困ったことの有無

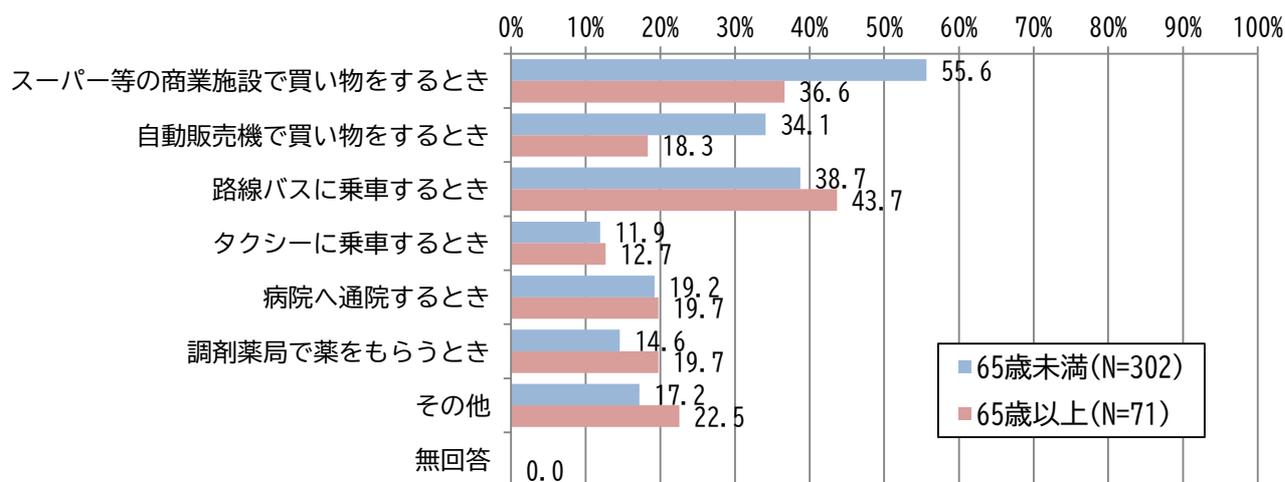
キャッシュレス決済が利用できず困ったことについては、「困ったことがある」との回答は約4割であり、比較的65歳未満の世代に多く見られる。

困る場面として、65歳未満では「スーパー等の商業施設で買い物をするとき」、65歳以上では「路線バスに乗車する」が最も多い。

■ 困りごとの有無



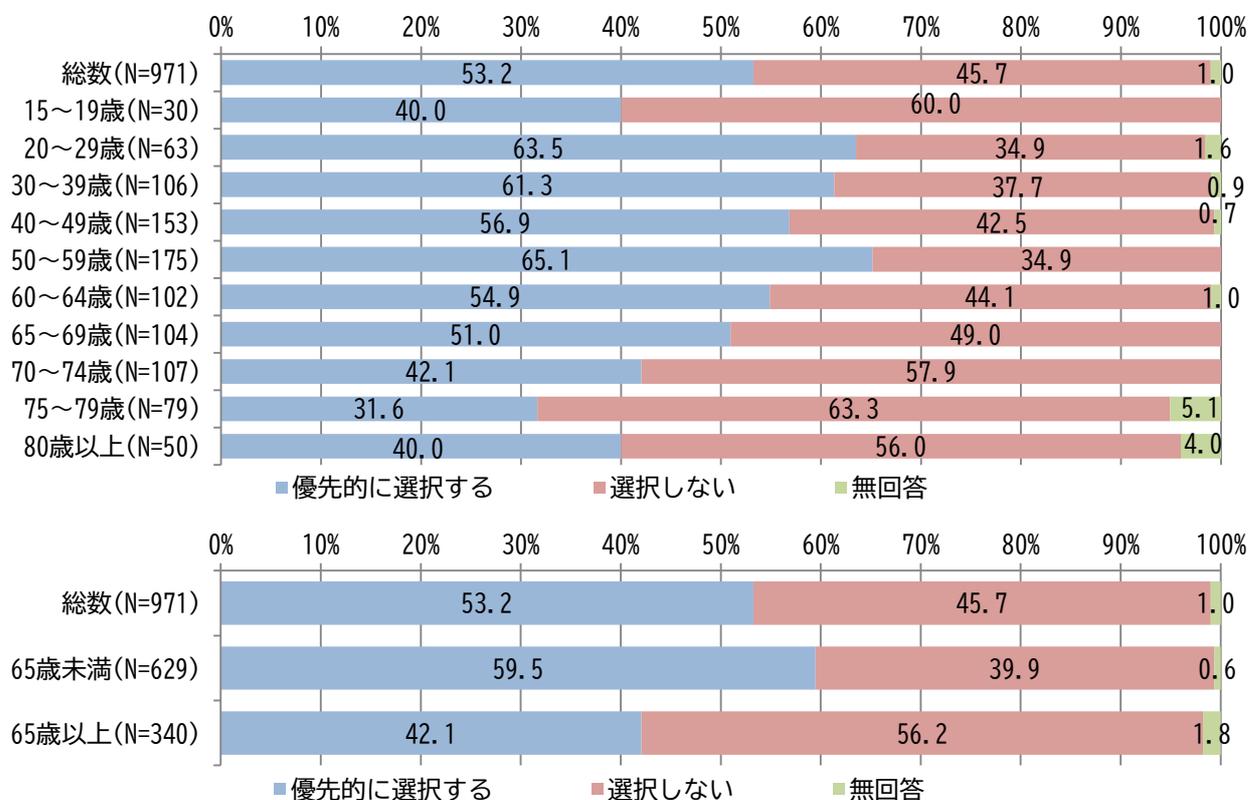
■ 困る場面



④ キャッシュレス決済の優先度

キャッシュレス決済が可能な店舗や施設を優先的に選択するかについて、「優先的に選択する」が65歳未満では約6割、65歳以上では約4割となっている。

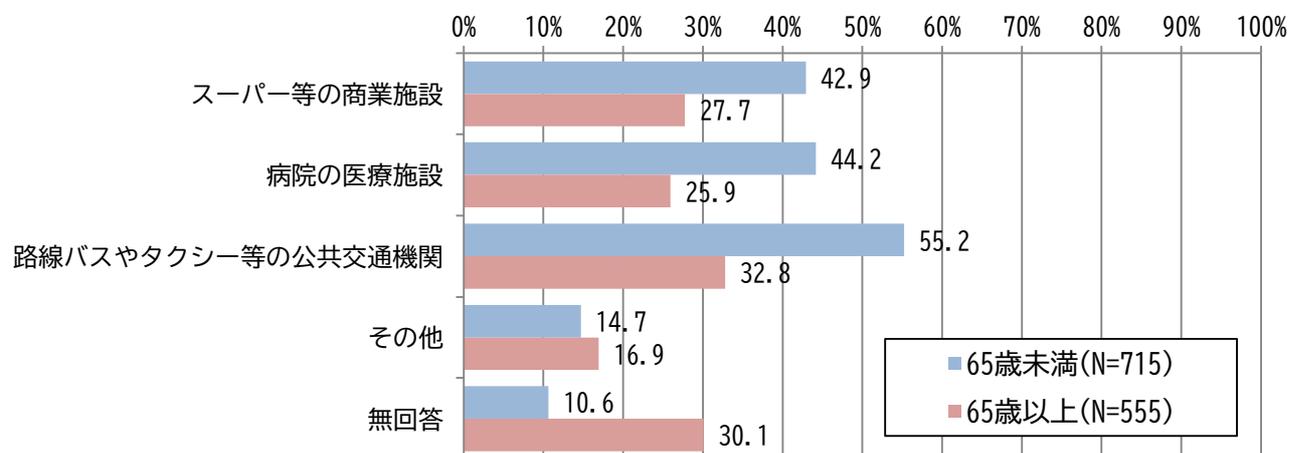
■ 優先度



⑤ 導入してほしい場面

どちらの世代においても「路線バスやタクシー等の公共交通機関」が、導入してほしい場面として最も選択されている。

■ 要望



⑥ 公共交通機関利用において、料金支払いが面倒と感じることや不安

現金による料金支払いについて、全体で「乗車を検討する際に、小銭を準備する必要があるため不便に思う」が最も多く、次いで「路線バス下車時に、両替や小銭準備に時間がかかる方がおり不便に思う」となっている。

世代別にみると、65歳以上では「面倒や不安と思ったことはない」との回答が最も多い。

■ 面倒・不安

総数(N=1,278)

